



ついに完成！新国立競技場

— 鹿沼産材使用の新国立競技場を視察 —
(市森林認証協議会)

鹿沼産森林認証材が使用された「国立競技場」の完成を受け、12月21日に開催された競技場のオープニングイベントに合わせ、市森林認証協議会のメンバーが視察を行いました。

同協議会では、平成28年に、東京五輪の関係施設への市内産材の使用を目指し、森林認証を取得しました。実際に木材が使用された大屋根などを確認した樽見副会長は、「我々の取り組みが認められた結果だと思います」と感激した様子で話しました。

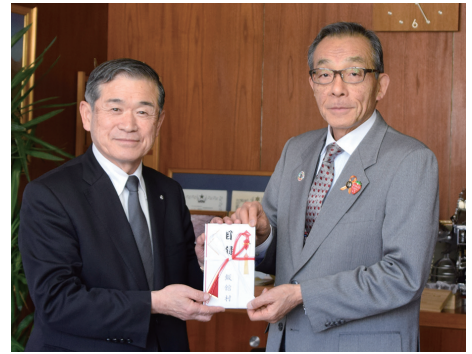
お見舞いと感謝の思いを込めて

— 飯舘村からの寄付 —

12月12日、福島県飯舘村の菅野典雄^{かんののりお}村長が市役所を訪れ、台風第19号の被災支援のため、鹿沼市に100万円を寄付しました。

本市と飯舘村は、東日本大震災の際の避難者受け入れや、その後の職員派遣など、さまざまな形で交流があります。

佐藤市長に目録を手渡した菅野村長は、「村も台風で被災したが、お見舞いとともに、これまでの感謝の思いを込めた」と話しました。



新規認定を受けた(有)川田石材工業・川田代表取締役(左)と(有)仲屋椎茸・仲田代表取締役(右)

新たに認定「深岩石」「ステーキ専用しいたけ」

— かぬまブランド認定式 —

12月18日、鹿沼市のイメージアップや観光誘客を図ることを目的に、市内の優れた商品等を認定する「かぬまブランド」の認定式が、市民情報センターで開催されました。

今年は、天然の凝灰岩「深岩石」(有)川田石材工業)と、ステーキ調理用の「ステーキ専用しいたけ」(有)仲屋椎茸)を新たに認定。認定者を代表してあいさつした川田代表取締役は、「鹿沼の活性化につなげたい」と今後の意気込みを語りました。

新年を告げる伝統行事

— 発光路の強飯式 —
(発光路強飯式保存会)

1月3日、上粕尾の発光路公民館で、国の重要無形民俗文化財である「発光路の強飯式」が行われました。

妙見神社の祭礼の後、当渡しの儀に続いて行われる本行事。太鼓の合図とともに山伏と強力が登場し、大きなわらだすきを身に付けた強力が「責め棒」で氏子や客人の首を押さえ小豆ご飯を食べるよう強います。ユーモアを交えた強力の口上に観客からは笑い声が上がりました。

